

東農大生産学部初神宮

5点差追いつきサヨナラ

①明治神宮大会①
道地区代表決定戦

〈最終日〉

◇11日◇網走呼人

信念のつなぎ
樫越理論結実

東農大生産学部（北海道
6大学）が延長12回、6―



5のサヨナ
ラで道都大
（札幌6大
学）を破り、

初の明治神宮大会（11月12
日開幕、神宮）出場を決め
た。5点を追う7回に4点
を挙げ、9回1死、「三塁

~~~~~

道都大対東農大生産学部  
延長12回にサヨナラ勝ちし  
て喜ぶ東農大生産学部の選  
手

道都大（1勝2敗）

100400000  
0000004001

東農大生産学部（0勝1敗）

0000  
001X65

（延長12回）道佐藤峻、  
若杉・森「東」陶久、佐  
藤賢、菅谷、長谷川、前  
川―比嘉

から相手の暴投で同点。最  
後は延長12回2死、「三塁  
で8番山城明久中堅手1  
年―沖繩水産、写真」が左

前適時打を放った。樫越勉  
監督（53）は「後半、必ず  
チャンスがくると話してい

た。全員で最後まで戦  
えた」と涙ながらに話した。  
信念を貫いた。〇―5の

7回、先頭の井野雄太主将  
（3年―東農大）が中前  
打で出塁すると、続く比嘉

た。再び指揮を執り始めた  
年に入學したのが、現チー  
ムの中心になっている3年  
生。再建へ、小技を絡めて  
着実に得点を重ねる理論を  
たたき込んだ。サインが出  
ても、走者のスタートが遅  
ければファウルで逃げるな  
ど、1球1打の大切さを伝  
え続けた。

孝也捕手（4年―中部農林）  
が三塁前へ送りバント。そ  
の後、連打と敵失、適時打  
で1点差に詰め寄った。樫  
越監督は「うちの野球のス  
タイルは変えないで、流れ  
を変えたかった」。ビッグ  
イニングを振り返り、終盤  
の同点、逆転劇にすぎない。  
08年に樫越監督が現場復  
帰。過去18度のリーグ優勝  
を誇る強豪も、当時は他大  
学の台頭もあり低迷してい

## 執念の差

道都大 初の明治神宮大

会まであと1歩届かなかっ  
た。初回に1点を先制し、  
4回には9番佐藤峻一投手

（2年―北見旭陽）からの  
3連打などで4点を挙げ、  
リードを広げた。だが、7

回に4安打と失策絡みで1  
点差とされ、9回到同点に  
迫いつかれると、試合の流  
れを完全に奪われた。山本  
文博監督（55）は「勝負な  
ので向こうの執念が上回っ  
たということ。この経験が  
次に生かします」と話して  
いた。